特定非営利活動法人　Ｆ．Ｏ．Ｐ

平成 26 年度　活動報告

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

誕生から、7 歳。みなさんのおかげで
また一歩前にすすむことができました。

Farmer's Heaven

green bird

FOP 事業コンセプト・・・

南信州に存在する生きるために必要な資源、社会学的（生き方。コミュニティー。歴史。文化。）環境学的・生物学的（多様性生物、自然、地球）経済学的（生産者・販売者・消費者　マーケット）の３つ視点から調査・研究 し、南信州に関わる人たちが、南信州に誇りと感謝と喜びを感じられるように伝えていきます。また、南信州の誇り高き資源・環境に意識を持つ人材を創造していきます。

26 年度　活動ビジョン・・・「里山と私たちの関係を学び、暮らしをつくっていこう」
主な活動↓↓↓↓

TENRYU 竹 PUROJECT

荒れ果てた天竜川。「このままじゃいけない！」と立ち上がった【天竜舟くだり】の船頭さんたちと行った竹プロジェクト－放置竹林の永続的な資源化ループ構築事業（環境省助成事業）。

竹を燃やせちゃう！
竹ボイラー★

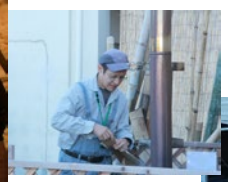
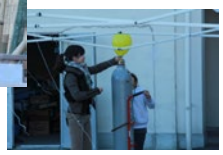
厄介者とされていた竹。
でも、実はこんなにも役に立ち、環境にもやさしい！そしてお財布にも！
という竹の有効活用を紹介した
パネル展示の設営。
船頭さんの活動の様子も紹介しました。

竹ボイラーで足湯体験

・環境まつり・

市民の方々にもこの取り組み・竹利用について知ってもらおうとイベントを企画。空間装飾、看板・食券・ギフトなどの製作も行いました。「竹」というひとつのキーワードから、山・水を守ること＝自然を守ることへとつながるということを発信するきっかけとなりました。

竹楽器づくり

F.O.P スタッフも総動員！

竹炭づくり

竹チップぼかし作り

竹製品づくり（コップ・指輪など）

山の恵み ～ジビエ料理～

・竹体験シンポジウム・

舟くだりさんによる一年間の活動のまとめ発表。
室内で行うのではなく、実際に目で見て体感して頂こうと体験型野外シンポジウムを企画。装飾、当日スタッフとして携わりました。
飯田市地域の皆さん、企業者、市長が来られました。

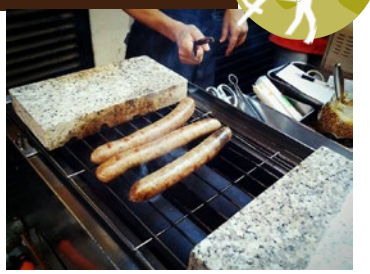
みんなで試食☆
モキ製作所さん提供の竹が燃やせる
ストーブを使い、かまどで炊いた白米。
天竜川の行く先 - 遠州灘で作られている
「沖ちゃん塩」と地元で作られている竜峡小梅でおにぎりに。

いきものさがし - 船の大冒険！

【天龍峡ラインくだり】さんとのコラボ企画。
舟に乗りいろんな生き物大発見☆どんなところに、どんな生き物がいるの？？ー天竜峡に生きる動植物の観察。私たちが飲んでいるお水はどこから来ているのだろう。。この川の水はどこへ流れて行くのだろう。。私たちの暮らしを見直していくことで環境保全につながるというお話も織り交ぜながら進めていきました。親子で楽しめる環境プログラムづくりの第一歩となりました。

中川村ジビエプロジェクト　in 自由が丘　女神まつり出店

自由が丘地域のお祭りに今年も Le joujou で鹿ソーセージを販売。ほか、大島農園の野菜２８種のミネストローネ、今田平のいちこなどを販売。雨の中の出店となりましたが、昨年、鹿ソーセージがおいしかったからと買いに来てくださる方もちらほら。昨年の倍。鹿ソーセージ３００本。ほぼ完売しました☆★☆鹿はおいしい。どんどん広がっているようです。



野菜がおいしい！！！大評判です。大島農園の無農薬野菜。

今年はインターン生がお手伝いに来てくれました。

遠山郷きざわ　お茶楽隊

ひさしぶりに平谷のんちゃんの参加に皆、テンションあがりました。↓↓↓↓

今年は落ち葉堆肥に挑戦したり、カチコチだった土がずいぶんと柔らかくなってきました。いろんな人が遊びにこれる茶畑になってきて、シーンとしていた合戸峠に笑い声が響いて幸せです。

フそして、パッケージが完成。フェスタやたろうやさんでの販売も美味しい !!! と好評でした。

遠山郷　南アルプス ジオパーク認定　記念展示

生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的として、ユネスコが開始した通称「エコパーク」に、南アルプスが登録されました。遠山郷の皆さんにとっては地元の山。山の会の皆さんが登山道の整備地道におこなっています。記念の展示では地域の方々が改めて「ここはイイトコだ」と山々の写真を眺めながらつぶやいている姿や「リニアなんか通せんらなぁ」とおばあちゃんたちが口々に話していたことも印象的でした。里山の暮らし方が私たちの大きな水がめとなる南アルプスを守っていると感じた展示でした。

人形劇フェスタ　展示・装飾・出店

人形劇フェスタの本部となるセントラルパークの装飾は、入り口に遠山杉を使ったアーチを製作しました。加工も遠山郷木工センターにて。地元の資源を活用して、地元のお祭りを装飾できて、とてもハッピー !!!
訪れた観客の皆さんも記念撮影の場所にしてくれたようです★

鹿ソーセージ、今田平のいちごスムージー、遠山郷きざわ冷茶を販売しながら、グリーンバードの紹介。会場のおそうじ。などなどと盛り沢山でしたが、「自分たちの活動を人に紹介することであらためて感じることができた」という声があがりました。

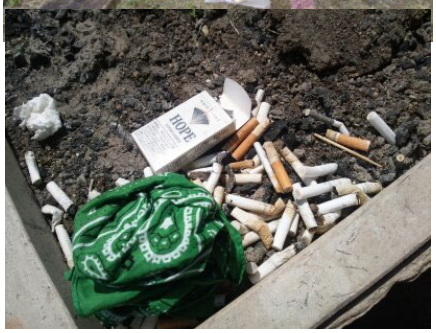
営農部のおかげで、化石燃料を使わず、ほとんど人の手と知恵で生き物が豊かに育つ田んぼのまま、お米も順調に育ちました。営農部の山ちゃんいわく、ここから学ぶことがたくさんあるそうで、でも、ここに行かなきゃ見えないことがいっぱいあるそうです。確認できるだけで 40 種の生き物がいるこの田んぼ。まだまだいろんな発見がありそうです！！！コシヒカリは味噌にしてみました。赤米もとても美味しかった！！！！

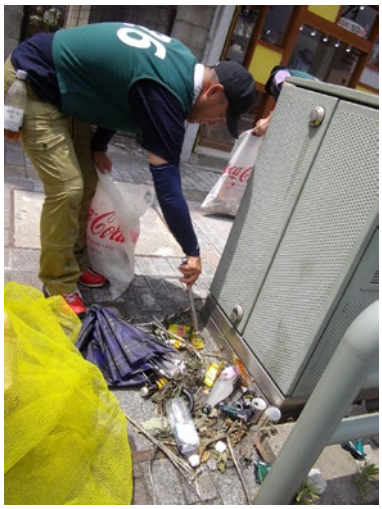
南信州チーム

green bird

Keep Clean,Keep Green **

green bird 南信州チームは、誰でも出来ちゃうおそうじというアクティブを通して、自分の住んでいる街、人、環境、暮らしを好きになる仲間がもっと増えていくことを願って活動してきました。７年、ごみを拾い続けていたら、ごみってどこから発生するのかを考えるようになって、ごみを出さないような暮らしかたも考えるようになって、追求していったら、誰かにお任せせずに自分の暮らしを自分の手でつくったら、随分とごみが減るんじゃない？！ということで、田んぼや畑とセットの活動になってきました。お世話になっている田んぼの周りをきれいにする。流れてくるお水を意識するようになる。そこでとれるお米を食べる。美味しい！ありがたい！この気づきを広げていきたいなぁと思います。





あそびにきてくれたよ★

インターン生

静岡副リーダー　ぴかりん

みつばちの大量死をテーマにした原作「だれもしらないみつばちのものがたり」伊那谷発ダンスミュージカルで伝えよう！

調査！伊那谷も全滅寸前！

中川村養蜂歴30年･･･7～8年前まで30箱程あったが現在１箱。松食虫防除薬の散布が行われた。養蜂家30人ほとんど全滅。
大鹿村役場･･･養蜂家が何人いるのか伺ったところ登録者は一人。役場ではあまり認識していない。後に登録はしていないが養蜂家約30軒いることが分かる。どこも数が急激に減り、絶滅寸前となっている。5年ほど前に、村で田んぼのカメムシ防除薬の空中散布が行われた。

！苗やさんは、ネオニコ入りばかり！

社会問題の情報は難しくて面倒？！

社会問題について沢山情報発信されるようになったのに
多くの人のＳＮＳから日常を見ると、あまり関心を持たれていないようだ！

ネオニコチノイドのことを伝えてくれる仲間を増やそう！

新たな層への・・・

周知！

世界をダンスで変える！というキャッチコピーで
ダンサーを募集。裏面にはみつばちがいなくなると、わたしの食べ物がなくなっちゃう？！
みつばちが減っていることを伝えていきました。

① コミュニケーション力を育む。まずは、心を開くことから。

問題に意識を持って取り組んでいる会とは違って
新たな人たちを巻き込むには、想いを共有させていくことがとても大切！
ダンスレッスンに混ぜながら、心をひらくためのワークも開催

② ネオニコのいらない暮らしを体感

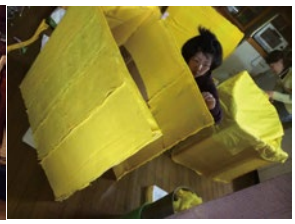
「だれもしらないみつばちのものがたり」よみきかせ
ネオニコフリーな農と食
わたしたちが知ったみつばちのことをまとめてみよう。
考える。言葉にする。絵にする。ワークショップ

難しそう、面倒？！と思ってた人たちにも
おや？なんだろうと興味を持てるような情報。
活動家ではなく普通の子供や、若い子の普通の発信。

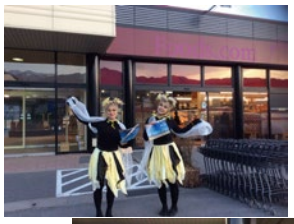
これが大きな一歩！ だとオモイマス。

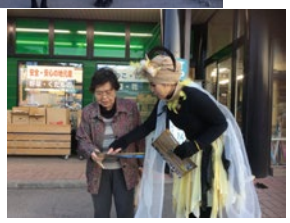
今までミツバチのことも、地域のことも、興味がなかったんだけど舞台をきっかけに、伝えなくっちゃと思いました。（ダンスが好きな普通の若者や高校生。新聞を添付して発信）

脱・ファストファッション



みつばちでＰＲ活動





たった二人の手からスタートした衣装や舞台セットも最後は本当に多くの人の手によって作られていきました。皆、仕事の合間を縫って夜な夜な内職などをしながら、出演じゃなくても最後までかかわりたい。そんな人が増えていきました。出演者も、アフリカン・ジャズ・ヒップホップ・フラダンス・舞踊・などジャンルを超えて、楽器も20種類以上と本当に多くの人の参加となりました。楽曲もジャンルが集うことで生物多様性を表現しました。

多数のメディアで報道されました。２社は１面！

ミュージカル制作に出演参加してくれた仲間

目標４０名を大きく超えて 80名

告知をしてくれたお店

目標３０店を大きく超えて 81店

このほぼ全員がネオニコチノイドを知りませんでした。

ミュージカル観客人数

目標３００名を大きく超えて 600名

会場ロビー、配布パンフレットでネオニコ。

アンケート２０１名回答　ミツバチの大量死の原因は？･･･ネオニコチノイド ５７名　農薬 ８８名 その他（消毒・汚染・人間）

2015 舞台を映像化し、さらに拡散してネオニコを知らせよう！

★youtube にて、告知映像の配信（ダイジェスト版）

★地元の映画館にて上映試写会　★他地域にて、上映会企画開始

対象者

- 飯田下伊那のダンススクール、ダンスサークルなどに通う人たち
- 社会問題、環境活動をしている人（なかなか活動が広がらず困っている人）
- 地域づくり（里山づくり）に興味のある人
- 養蜂・農業に興味のある人

なぜ、ネオニコに頼らなければならないのか？
私たち食べる人が暮らし方を考えていくことが必要！

2016 体験型 各地で上映会

ただ観るだけじゃつまらない！
面白いコラボも提案 →

【現予定】 静岡市・浜松市・松本市・上田市・羽咋市・東京・横浜（生活クラブ）
伊那市・飯田市

- ●上映権販売（ＤＶＤレンタル・プロジェクターレンタル）
- ●プロジェクションマッピングで３面投影も検討
- ●ミツバチマーケットやお話会、コミュニケーションを育むワークショップ・ネオニコ頼らない暮らし自然体験・農業体験・地球と寄り添うアーティストのライブ など

２６年度を振り返って。

みなさんそれぞれの得意が集まって、昨年に描いた各プロジェクトの完成ビジョンに無事に辿り着くことができ、ほっとしたのもつかの間、びっくりするくらいの早さで、この季節がやってきてしまいました。

　ファーマーズヘブンには「いきもの」の存在が欠かせないことを知り、小さないのちのいとなみにも心寄せてみると、ひとつひとつの作物が育つペースと、ひとつひとつのいのちが誕生し育つペースの中で私たちの毎日が関係しているのだと感じました。そうした時に、わたしたち人間が良かれと思って進めてきた高度成長期の早さってすごく無理があったのかもしれないなあと壊れかけた自然の有様を見てつくづく思うのです。

　過渡期な今。こどもたちに、見せながら、語りながら、
森に、川に、大地に触れて、壊すのではなく、ずっと付き合える関係を作っていきたい。
そんな仲間たちと活動もますます真に芯に深めていきたいなと思います。日本の未来につづくカルチャーは、里山から★愉快につくっていきましょー！！！！

ＮＰＯ法人ＦＯＰ　代表理事　杉浦 歩実